



ラプラプセブ国際大学
Lapulapu-Cebu International College (LCIC)



大学プロフィール

- 大学名 : ラプラプセブ国際大学 : Lapulapu-Cebu International College (LCIC)
- 設立 : 2021年9月
- 所在地 : Tigahon 1 Road, Barangay Bankal, Lapu-Lapu City, Cebu 6015
- 学生数 : 現地学生 定員 2,000人 (1 入学定員 500人)
: 留学生 定員 492人
- 現地学生 : 外国語学部、ツーリズムマネジメント学部、理学療法士学部、工学部
留学生 : 留学生専用のプログラム
※現地学生とは、フィリピン人学生。留学生とは、日本人、台湾人、韓国人他の各学生。
- URL : <https://lcic.jp>

ラプラプセブ国際大学 (LCIC) は、フィリピンのセブ・マクタン島に 2021 年 9 月に開学した、政府認証の大学です。外国語学部、ツーリズムマネジメント学部、理学療法士学部の 3 学部があり、2024 年 8 月からは、新たに工学部が開学予定です。留学生には留学生専用の英語教育プログラムを大学の授業として提供しています。

校内のシェアハウス型寮で留学生と現地学生が共に生活します。また、フィリピン人学生による 1 対 1 の英語レッスンやサークル活動など交流の機会を提供してします。留学生が単に英語を学ぶだけでなくグローバルな社会で生きていく力を身につけることを目指しています。

※「留学生専用プログラム」…英語のレベル別に 4 つのクラス分けを行い、英語に必要な 4 技能 (話す・書く・読む・聞く) を磨けるプログラム。一般教養科目 (SDGs)、言語科目 (初級レベルの韓国語・中国語・フィリピン語) の履修も可能です。

大学周辺の環境

フィリピンは、東南アジアに位置し、日本と同じ島国で、日本からのアクセスが良く、時差は1時間。人口は1億1,390万人（日本1億2,330万人）、広さは日本の約8割。公用語は「フィリピン語」「英語」。LCICは、セブ島と橋で繋がったマクタン島にあり、マクタンセブ国際空港、高級リゾートホテルエリアからも近距離です。また、セブ島周辺エリアには、人気スポットも多くアイランドホッピングや、スキューバダイビング体験、ジンバイザメとのダイビング、世界最小のサル（ターシャ）にも会えます。



コース期間

コース名 : 2024年LCIC留学コース

コース期間: 2024年8月5日(月)~2024年8月30日(金)

レッスン

3科目を履修し、必ず60時間以上を確保してください。

中国語、韓国語以外、英語で開講されている授業を選択すること。

なお、中国語、韓国語と下記「one on one」「Student Buddy System」は、単位修得には含まれませんが、自由に履修できます。

- 「One On One」・・・英語教員とのマンツーマン：200ペソ（約600円）
- 「Student Buddy system」・・・フィリピン人学生と（留学生）のマンツーマン：無料

通常の座学（レクチャー型）授業以外に、5、6コマ目に各50分間のマンツーマンレッスンがあります。

「One On One」は、通常の授業の補講（予習、復習）として利用したり、開講されていない授業について英語教員との「1対1」形式で直接教わることができる個人レッスンです。

「Student Buddy system」は、常に同じキャンパス内に在籍している同年代のフィリピン人学生と自由に会話を楽しむことができる個人レッスンです。

いずれも「受講は自由」ですが、特に「Student Buddy system」は多くの留学生が利用しております。



宿舎

留学生は、全員キャンパス内にある寮に入寮していただきます。

一部のフィリピン人学生も同じ寮に入寮しており、共同生活※となります。

留学生は、全員個室が与えられます（フィリピン人学生は4人で1部屋）。

※共同生活…「10人1ユニットのシェアハウス型」

フィリピン人4人、留学生6人（（例）日本人2人、台湾人2人、韓国人2人）を基本構成とし、気軽に国際交流できる環境で、異文化交流体験を楽しめます。但し、フィリピン人学生は常に寮に居ますが、人数構成は時期より異なります。

◆宿泊期間◆

入寮予定日：2024年8月4日（日） / 退寮予定日：2024年8月31日（土）

※「セブ到着日＝上記入寮日 / セブ出発日＝上記退寮日」になります。



アクセス

最寄りの空港は、マクタン・セブ国際空港で LCIC から近く、車で 15～20 分程度。

成田空港からの直行便があり、フライト時間は 4～5 時間程度（時差 1 時間）です。

（コロナ以降、関西国際空港、中部国際空港からの直行便は復活しておりません。）

参考：フィリピンへの入国について

フィリピンへは、ビザ無しで、観光目的（30 日以内に出国する前提）で入国いただきます。

出迎えサービス

マクタン・セブ国際空港にご到着いただくと、現地スタッフがお迎えに伺い、マイクロバスで LCIC（寮）までお連れします（ちなみに、帰国・退寮の際にも、空港までお送りします）。

飛行機の発着に合わせ、24 時間（たとえ夜中でも）対応いたします。

修了証

LCICでのプログラムが修了した留学生様に「Certificate」などをお渡しします。

留学費用の目安

留学費	218,000 円
入学金	20,000 円

※日本円での支払となります（為替相場による金額変動はありません）。

※LCIC ショッピングカードより指示のあった銀行口座へ振込していただきます。

◎上記費用に含まれるもの

授業料、寮費、水道光熱費、食費（土日祝日を含め1日3食提供）、空港とLCIC寮との送迎費（往復）
滞在ビザ、ACRI-CARD（外国人登録証）、SSP（特別就学許可証）に係るすべての実費および手続費用
学生とのマンツーマン（student buddy system：50分）に係る費用

◎上記費用に含まれないもの

渡航費、海外旅行傷害保険代、教材費、お小遣いなど

参考：その他費用について

教材費：履修科目により変動。

教員とのマンツーマン授業（50分）：200ペソ（約600円）

前泊（土曜日入寮）・後泊（日曜日退寮）：1泊につき1,200ペソ（約3,500円）

通常入退寮※の場合、費用負担なし

※通常入退寮…留学開始日の前日（日曜日）入寮、最終日の翌日（土曜日）退寮

応募方法

① 国際交流推進課に誓約事項と申込フォームを提出

※申し込み要綱を確認してください。

② ラプラプセブ国際大学ホームページよりお申込

<https://lcic.jp/apply/>

※短期留学 2024年8月5日～8月30日を選択すること

応募締切

2024年5月17日（金）17:00迄

〔株式会社ラブラブセブ国際大学（LCIC）ジャパンデスク〕

U R L	http://lcic.jp
住 所	〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東 1-2-1
担当者名	田桑（タガリ）・石井
T E L	082-814-3772
Eメール	lcic_japandesk@lcic.jp
営業日	月曜日～金曜日 9:00～17:00（土・日・祝除く）

フィリピン・セブの国際大学が、
グローバル社会で活躍するひとを育てる

新たな留学先へ



ラプラプセブ国際大学

Lapulapu-Cebu International College (LCIC)

開設学部：外国語学部／ツーリズムマネジメント学部／理学療法士学部

ラプラプセブ国際大学はフィリピン大学の著名な教育家が学長に就任し、
世界で活躍できる高度人材の育成を目標に掲げるセブの国際大学です。
留学生専用のプログラムで英語や異文化に対する理解を深めます。

グローバルな実践力を磨く質の高い教育の場

留学生だけの、英語や様々な科目のカリキュラムを設定し履修科目の単位を認定します。

ラブラプセブ国際大学英語教育理念

私たちは質の高い授業を行い、あらゆる英語レベルの留学生に次の力をつけることを目標とします。

- 世界のあらゆる場所・場面で通用する英語力
- 異文化を理解し受容する力
- 豊かな表現でコミュニケーションできる英語力

We provide international students with quality English education at all levels to

- become globally competent
- develop cross-cultural understanding
- improve communication skills.

受賞歴多数の有名教授を学長に据え、教育理念を実践。



学長

Grace R. Gorospe -
Jamon

- フィリピン大学卒
- フィリピン大学元教授
- フィリピン大学在籍40年
- 数々の賞を受賞
- 学生による授業評価で40年近くトップ3を堅持

学位

[1998年 政治学のPhD]
Doctor of Philosophy in Political Science October 1998
[1981年 政治学の修士]
Master of Arts in Political Science April 1981
[1976年 政治学の文学士]
Bachelor of Arts in Political Science April 1976



外国語学部長

Vanessa Madelo

- サンカルロス大学卒
- サンホセ大学英米語学PhD
- セブ大学16年

LCICでは、すべてのフィリピン人学生に日本語と日本文化を含むコースを提供しています。これらのプログラムは、外国人留学生は英語だけでなくフィリピンの文化を学び、フィリピン人学生は日本語と日本の文化を学ぶ交流の機会をフィリピン人学生と外国人留学生の双方に、提供しています。LCICは、留学生にフレンドリーで快適な学習環境と質の高い教育を提供することをお約束します。私たちは、LCICでみなさんをお迎えし、共に学ぶことにワクワクしています。

"Lapulapu-Cebu International College (LCIC) offers courses that include Japanese language and culture to all Filipino students. These programs provide opportunities for both Filipino and international students to have an exchange of learning where the international students can learn not just the English language, but also the Filipino culture, and the Filipino students can learn Japanese language and culture. LCIC assures international students a quality education with a friendly and conducive learning environment. We are all excited to welcome and educate you at LCIC."

学長メッセージ

LCICの目標は言語と文化の体験を通して国際理解を深めることです。歴史あるセブのマクタン島に位置する私たちのキャンパスでは、地域の人々と一緒に生活し、景色や伝統、海洋環境を楽しむことができます。私たちの語学プログラムは、言語の5つのスキル分野である「読む」「書く」「話す」「聞く」「文化的適応」の実現と学習を促進するように設計されています。本校のESLプログラムでは、英語を理解して話す能力を留学生に身につけさせ、穏やかで温かな人々が住むセブ島を留学生に体験させることができます。LCICでは、学生はなりたいたい自分になり、母国語、第二言語、そして外国語で自分を表現することを学びます。私たちの第二言語である英語で話したり、聞いたりすることを学んでいただきながら、みなさんをキャンパスにお迎えし、ご案内したいと思っています。

The goal of LCIC is to promote international understanding through language and cultural experience. Located in the historic island of Mactan, Cebu, our campus will afford you to live with the community and enjoy the sights, traditions, and marine environment. Our language programs are designed to facilitate the attainment and learning in the five skills area of languages – reading, writing, speaking, listening and cultural adaptation. The ESL program of our school gives the students the ability to understand and speak the English language and experience Cebu with its gentle and mild-mannered people. In LCIC, students learn to become who they want to be and express themselves in their native, second, and foreign languages. We hope to welcome you in our campus someday and tour you around as you learn to speak and listen in our second language – English.



留学プログラム担当エグゼクティブアドバイザー

Michael Torpey

- オーストラリア出身
- コロンビア大学教育学博士
- 日本での英語教授歴20年以上

私たちはLCICの学びを通じて世界のあらゆる場所、場面で通用する英語力及び豊かな表現でコミュニケーションできる英語力をつけることを目標とします。親しみやすいフィリピン人学生との交流を通してコミュニケーション能力に自信を持ってください。この一歩を踏み出すことで、より自立した人間になり、且つ整った学習環境下で新しい文化を学ぶことができます。

Our goal for international students is to become globally competent as well as improving communication skills through their studies in LCIC. Gain confidence in your ability to communicate by interacting with the friendly Filipino students. Take this step forward to become more independent and learn a new culture in a supportive academic environment!

LCICとは?

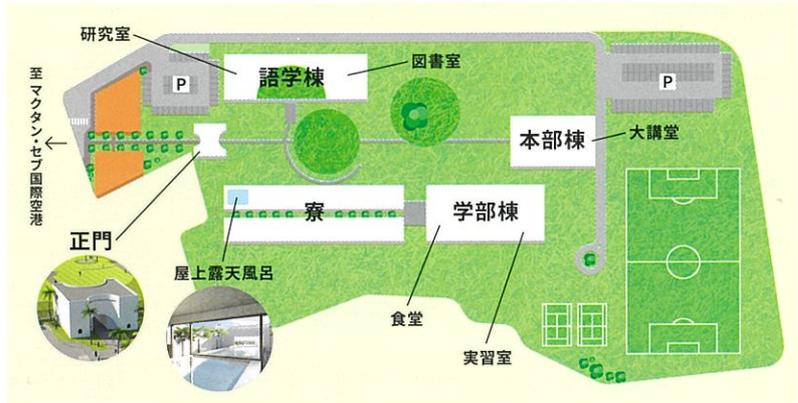
LCIC(Lapulapu-Cebu International College)は、専門学校でもなければ、語学だけの大学でもありません。各国の留学生や現地の学生がともに学び、生活する中で「英語で」各専門分野を学び、グローバルに活躍できる人材を育成する国際大学です。

2021年9月にフィリピン政府の認証を受けた『大学』です。

教員は修士課程(もしくは同等)以上の教育機関で教育学を学んだ専門家!

全ての教員に対してLCICの教育方針に基づく教授法を十分にトレーニング!

出席やレポート、試験等で基準を満たした科目は本学での修得単位として認定!



学びのポイント

1 充実の英語教育

- 授業は、レベル別に4つのクラスで行います。英語に全く自信がない人から、高度な英語を学びたい人まで、幅広いニーズに応えます。
- スピーキング、ライティング、リーディング、リスニング。英語に欠かせない4技能をそれぞれ磨けるカリキュラムです。
- さらに英語を学びたい人は、放課後にマンツーマンレッスンの受講も! (別料金)

2 韓国語・中国語も学べる

- 初級レベルのみの開講ですが、英語に加え多言語を学びたい、国際的な視野をより広げたいという人には挑戦の価値があります。

3 母校の単位を遠隔授業で修得可

- 母校での単位を遠隔授業で修得することが可能。セブと日本の時差はわずか1時間です。(大学によって規定が異なりますので、各自でご確認ください。)

4 遠隔授業専用ルーム設置

- 遠隔授業を受けるための専用ルームがあるので、集中して取り組みます。

5 高速・安定のインターネット回線

- 学内のネットワークはNTTの現地子会社と契約。高速で安定したインターネットを利用することができます。

6 SDGsがわかる教養科目(中期留学コースのみ開講)

- 教養科目は全てSDGsに関連! 興味のある分野を選べます。*
- 英語による授業が不安な学生には日本語教員が同席。予習・復習にも日本語プリントを用意。英語力が不安な段階からも、質の高い学びが可能です。
- 定期的に理解度テストを実施。苦手科目は日本語教員が日本語で補習を行う、チュータリングシステムを採用。 ※開講していない科目がある場合があります。

一日の過ごし方の例

- 9:00 午前中の授業
前日出された課題の答え合わせや、簡単なボキャブラリーの勉強など。
- 12:00 ランチ
- 15:00 午後の授業
大学の外へ出て実習授業を行います。大学外で英語を使えるチャンス!
- 17:00 サークル活動
- 19:00 夕食

受講科目を自由に選択できます。

毎日英語のみ受講 AM英語・PM教養科目受講

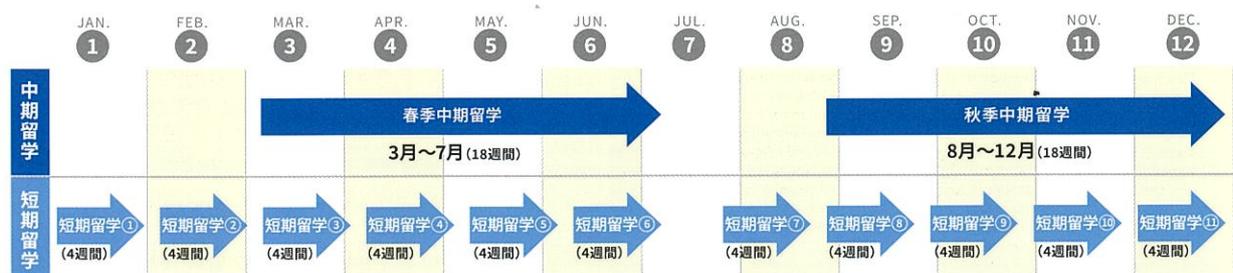


スケジュール

年間のながれと申込時期

留学コースは「中期留学」と「短期留学」があります。留学の申込時期は各留学開始の2か月前までとなります。

申し込みはこちらから



※対象者は、大学、短期大学、大学院に在籍している方です。

学びも、生活も。有意義な留学への各種サポート

留学対象者

大学・短期大学・大学院に在籍している学生が対象となります。

学費・留学費

欧米への留学費用よりリーズナブルなうえ、各種コミコミ！

授業料 寮費 食費 水道光熱費 込みで

短期留学 4週間 **218,000円** (税込) 中期留学 18週間 **981,000円** (税込)

別途、入学金20,000円と自宅からマクタン・セブ国際空港までの交通費、教科書代が必要です。

各留学コースに連続して参加することも可能！



欧米のわずか1/2から1/3程度の留学費用！

留学費用だけでなく、日本からの渡航費や現地での物価も、欧米諸国と比べてリーズナブルです。



家賃、水道光熱費、3食代もコミコミ！

寮費だけでなく、水道光熱費もコミ、3食分の食事付き！節約になるだけでなく、勉強にも集中できます。

※留学費用は為替レート等の関係で変わる可能性があります。※入学金には空港と大学の送迎費用、滞在ビザ、ACRI-Card(外国人登録証)、SSP(特別就学許可証)を含みます。また、入学金については留学期間に関わらず、留学のたび一回のみ必要となります。※ご自宅からマクタン・セブ国際空港間の移動は各自手配・ご負担となります。

カリキュラム・異文化体験

さまざまな学びや異文化体験のニーズにきめ細かに応えるカリキュラム！

カリキュラム表はこちら



▶カリキュラムの自由度が高い！

英語、韓国語、中国語、教養科目(SDGs)。自分の学びの目的に合わせて組み合わせられます！

▶スキューバダイビングの免許が取れる！

土曜日にセブの海で行う集中講義で免許取得可！※体育科目として単位認定。(別料金)



▶英語のマンツーマンレッスン！

英語を徹底的に勉強したい学生にはマンツーマンレッスンも。※単位認定されません。(別料金)

▶サークル活動も活発！

放課後は是非サークル活動を。いろいろな団体がありますよ。さまざまな国の学生と友情を深めましょう。

短期留学カリキュラム表(例)

	月	火	水	木	金
1コマ目 8:30~10:00	TOEIC R&L①	English Communication②	TOEIC R&L③	TOEIC S&W③	TOEIC R&L④
2コマ目 10:10~11:40	English Communication①	SDG for ESL① 韓国語①/日本語① 中国語①	English Communication③	SDG for ESL③ 韓国語③/日本語③ 中国語③	Hospitality English⑤
昼食休憩 11:40~12:40					
3コマ目 12:40~14:10	Hospitality English①	TOEIC R&L②	韓国語②/日本語② 中国語②	English Communication④	SDG for ESL④ 韓国語④/日本語④ 中国語④
4コマ目 14:20~15:50	TOEIC S&W①	Hospitality English②	TOEIC S&W②	Hospitality English③	TOEIC S&W④
5コマ目 16:00~16:50	マンツーマン レッスン1	マンツーマン レッスン3	マンツーマン レッスン5	マンツーマン レッスン7	マンツーマン レッスン9
6コマ目 17:10~18:00	マンツーマン レッスン2	マンツーマン レッスン4	マンツーマン レッスン6	マンツーマン レッスン8	マンツーマン レッスン10

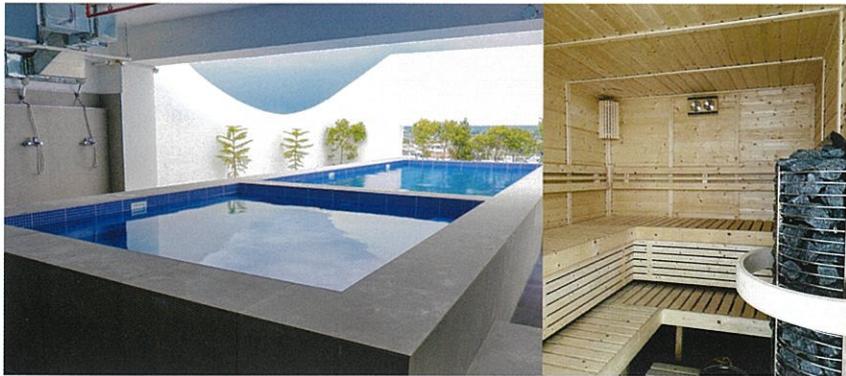
中期留学カリキュラム表(例)

	月	火	水	木	金
1コマ目 8:30~10:00	Tourism English	Grammar Builder	Pronunciation Skills	Academic Listening & Speaking	Business English
2コマ目 10:10~11:40	Vocabulary Builder	Academic Reading & Writing	English Communication	Reading Skills	Presentation Skills
昼食休憩 11:40~12:40					
3コマ目 12:40~14:10	IELTS 韓国語/日本語A	SDG for ESL Mandarin(中国語)A	Travel & Culture Mandarin(中国語)B	Food Culture 韓国語/日本語B	Hospitality English 教養科目(産業社会論)
4コマ目 14:20~15:50	Understanding the Self (エネルギー環境論)	TOEIC S&W 教養科目(国際関係論)	Creative Writing 教養科目(健康福祉論)	TOEIC R&L 教養科目(自然環境論)	Technical English 教養科目(国際平和論)
5コマ目 16:00~16:50	マンツーマン レッスン1	マンツーマン レッスン3	マンツーマン レッスン5	マンツーマン レッスン7	マンツーマン レッスン9
6コマ目 17:10~18:00	マンツーマン レッスン2	マンツーマン レッスン4	マンツーマン レッスン6	マンツーマン レッスン8	マンツーマン レッスン10

※カリキュラムは変更することがあります。詳細はホームページのカリキュラム表をご覧ください。

快適な寮生活

みなさんが留学期間中に多くの時間を過ごすことになる寮は、快適さと安全性にとことんこだわりました。1ユニット10人のシェアハウス型の寮には、多様な国の学生がともに暮らし、授業以外でも国際交流ができる環境です。1階には共同学習室やアクティビティルーム、自由調理室があり、5階には大浴場を完備。舎監が24時間常駐し、セキュリティも万全です。



大浴場、露天風呂、サウナ付き

実はフィリピンはシャワー文化で、ゆっくり湯船に入る習慣はあまりありません。でもこの寮には、5階に露天風呂とサウナ付きの大浴場を完備しています。毎日ゆっくりと手足を伸ばしてお湯に浸かることができます。露天風呂からは星空を見上げたり、国際空港を見下ろしたりと、景観もばっちり。サウナでたっぷり汗をかけば、気分爽快にリフレッシュできます。勉強に遊びにと、疲れた心と身体を毎晩心地よく癒し、楽しい留学生活を過ごしてほしい。そんな想いを込めて作った設備です。個室シャワールームもあります。



留学生は全員個室

全ての個室にベッド・クローゼット
机・金庫の家具一式付き

留学生には小さな個室が用意されています。その個室にはベッド・机・クローゼット・金庫が備え付けられています。プライベートが保たれ、家具一式も揃っているので、長期の留学でも快適に過ごすことができます。



10人1ユニットのシェアハウス型

例：日本人3人、韓国人2人、
中国人1人、フィリピン人4人 など

シェアハウスのメンバー構成は多国籍。個室で過ごすだけでなく、リビングでくつろぐさまざまな国出身のメンバーと会話を楽しむことも可能。気軽に国際交流できる環境で、自分のスタイルに合わせて異文化体験を楽しめます。



日本食も用意あり

うどん、ラーメン、カレーなどが
いつでも食べられる！（別料金）

寮は3食付きですが、別料金で日本食を注文することができます。メニューはうどん、ラーメン、カレーなど。海外で暮らすと日本食が恋しくなるもの。食べたい時に懐かしい味が食べられるというのは、海外生活では嬉しいことです。

安全へのサポート

「治安は大丈夫？」「もし病気や怪我をしたら？」「トイレなどは清潔？」など、海外に行く時はさまざまなことが不安になるもの。治安がよく、非常に衛生的な日本と比べると、セブには不便な点があるかもしれません。だからこそ、LCICではみなさんが安心して留学できるように、多方面に渡るサポートを用意し、安全で有意義な留学を支援しています。

セキュリティ万全の大学・寮で安心して生活できる

学内は複数の警備員が24時間常駐し見回り

正門と寮の入り口にはセキュリティーゲートを設置

寮には複数の舎監が24時間常駐

大学の外周にはフェンスを設置

大学構内には多数の監視カメラを設置

スクール看護師、カウンセラーが常駐

学内のトイレは全てTOTOウォッシュレット付き

▶ 学内に看護師が常駐しているので病気・怪我などに安心対応





フィリピン・セブって、こんなところ

Guide to CEBU

日本からのアクセスの良さと、
美しい常夏のビーチで観光地として人気があるフィリピン・セブ。
学びの環境としての魅力の高さが、今注目を集めています。

温かい人と過ごしやすい気候、 セブで身につける国際感覚！

フィリピンは東南アジアの島国です。歴史的にスペインやアメリカとの関わりが深く、公用語はフィリピン語と英語です。西洋文化の影響を受けていますが、食事は米食中心で物価も安く、日本人には馴染みやすい国と言えるでしょう。気候は日本の夏のような気温が通年続きます。その中でもセブは雨期・乾期の区分がなく過ごしやすい場所です。そんなフィリピンが近年留学先として人気を集めている秘密は、主に3つあります。

一つ目は、英語を話す人口の多さ。アメリカ、インドに次いで世界第三位の英語人口を誇っています。二つ目は、「フィリピン・ホスピタリティ」とも呼ばれる親しみやすくフレンドリーな国民性。教員との距離感も近く感じられ、どの教科でも安心して教わることができます。

三つ目は、豊かな自然と国際的な環境。美しい常夏のビーチにひかれて、多くの国から留学生や観光客が集まるので、異文化に触れる機会が多く国際感覚が磨かれます。このような大きなメリットを生かして、リゾート地としても名高いセブで、充実の学びを経験してみませんか。



成田空港・中部国際空港・関西国際空港から直行便



セブ市内

アクセス

関西国際空港から
直行便で

4 時間
前後

時差

日本の
標準時間から

-1 時間

気候 セブは常夏の南国の気候。ほぼ1年中、日本の夏の服装で過ごせます。

2020年のセブと東京の月別平均気温

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
セブ	27℃	26℃	27℃	28℃	30℃	30℃	28℃	29℃	29℃	28℃	28℃	27℃
東京	11.1℃	13.3℃	16.0℃	18.2℃	24.0℃	27.5℃	27.7℃	34.1℃	28.1℃	21.4℃	18.6℃	8.6℃

データ参照：平均気温 - 気象庁、Past Weather in Cebu City



休日! 充実!

オススメ1dayプラン

せっかくセブに留学するのなら、
リゾートも思いっきり満喫したい。
たとえば、こんな休日が過ごせちゃいます!

6:00

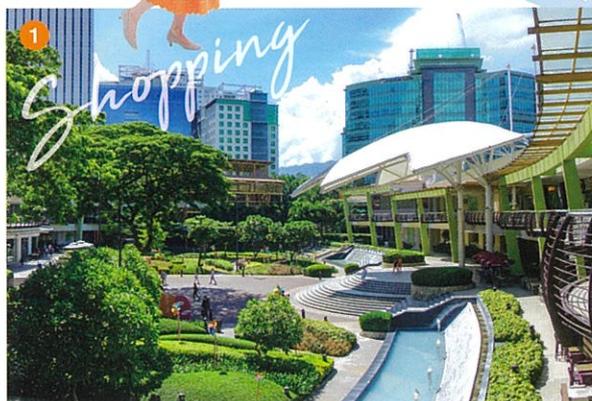
大学のある
ラブラブ市内から
オスロブ村へ出発!
移動約3時間半。

9:30

オスロブ村に到着。
ジンベエザメと
ダイビング!!
セブに来たらずひ
体験してほしい!

12:00

セブ市内へ移動
約3時間。
道中でランチ。



15:00

セブ市内の
アヤラモールで
ショッピング!
名物「ハロハロ」
でひといき。



まだまだある!

セブ周辺の人気 スポット



カワサン滝
透明度が抜群で青色を保つ滝壺。



ボホール島
世界最小のサル「ターシャ」に会う。

18:00

トロピカルなディナー!
セブ市内のレストランは、
リーズナブルに南国の
食事が楽しめるお店が
多数あり。

21:00

ラブラブ市内の
大学の寮に帰宅。



ラプラプセブ国際大学で学ぶ 5つの魅力

大学、短期大学、大学院に在籍中の学生のみなさん。
メリット豊富な本学で、グローバルな学びの時間を過ごしてみませんか？

1 留学費用がリーズナブル 欧米留学より安価な留学先

留学費用は、授業料・寮費・食費・水道光熱費込みで

短期留学(4週間)218,000円(税込) 中期留学(18週間)981,000円(税込)
別途、入学金20,000円と自宅からマクタン・セブ国際空港までの交通費、教科書代が必要です。

※留学費用は為替レート等の関係で変わる可能性があります。※入学金には空港と大学の送迎費用、滞在ビザ、ACRI-Card(外国人登録証)、SSP(特別就学許可証)を含みます。また、入学金については留学期間に関わらず、留学のたびに一回のみ必要となります。※ご自宅からマクタン・セブ国際空港間の移動は各自手配・ご負担となります。※留学期間中も、各大学に定める授業料の納付が必要な場合があります。

2 日本の大学の 単位に認定可能

留学中に修得した科目は「ラプラプセブ国際大学(LCIC)」の単位として認定します。LCICで認定した単位は60単位まで卒業単位として在籍大学に申請することができます。

※大学によって規定が異なりますので、各自でご確認ください。

3 遠隔で日本の大学の 授業も受けられる

時差わずか1時間。「ラプラプセブ国際大学(LCIC)」からも、日本の大学の授業に遠隔で参加できる環境があります。

※日本の省令により、遠隔授業は60単位まで修得可能です。
※在籍大学の遠隔授業の実施可否、及び、詳細については在籍大学にご確認ください。

4 シェアハウス型の 寮完備

10人1ユニットの個室タイプのシェアハウス寮になっています。さまざまな国籍の学生と国境を越えた共同生活が体験できます。

5 自然豊かな 人気観光地

「ラプラプセブ国際大学(LCIC)」のあるマクタン島は、リゾートホテルが立ち並ぶ観光地。近年は、日本人にも人気の自然が美しい観光地になっています。

+α 韓国語・中国語も学べる
英語に加え、韓国語(初級)や中国語(初級)の授業も選択可能です。

現地LCIC在籍生向けの授業も受講できる
※単位として認定することはできませんが一部の指定された科目のみ受講可能です。

ラプラプセブ国際大学(LCIC)概要

設置形態：株式会社立	開学時期：2021年9月
敷地面積：64,803㎡	学生収容定員：1600人(1入学定員400人)
校舎面積：17,250㎡、寮10,500㎡(予定)	大学留学生定員：492人



ラプラプセブ国際大学(LCIC)ジャパンデスク

〒731-0295 広島市安佐北区可部東一丁目2番1号

電話：082-814-3772

E-mail：lcic_japandesk@lcic.jp

0120-607-779

LCIC留学について検索はこちらから (<https://lcic.jp>)

ラプラプセブ国際大学

検索

公式サイトはこちらから (<https://lcic.edu.ph>)

Lapulapu-Cebu International College

検索



<クラブラプセブ国際大学留学体験者のコメント>

●2023年短期留学2月参加 福岡県 大学4年 Y・Sさん

【授業はいかがでしたか？】

LCICへの留学では多くのことを勉強させていただきました。受講した授業については全て良かったと感じています。特に先生方の熱心さと一つ一つの講義に対して周到に準備されている点などが良かったです。今回の英語を学ぶうえで良かったと感じたことが「フリートークとパディシステム」です。ワンツーマンではフォーマルな英語を学び、フリートークやパディシステムでよりインフォーマルな英語を身につけられたように思います。

【寮生活はいかがでしたか？】

寮内での生活においても満足しています。セキュリティ・食事・ネット環境・トイレやお風呂など全て生活しやすい環境でした。特に水回りの清潔さは完璧だと感じました。

【LCIC留学の感想をお願いします】

今回の留学で最も良かったと感じたことが交流の多さでした。現地学生はもちろん、寮母の方々、警備員、寮内スタッフの方々と関わる機会が多くありました。そのような方々との交流は多くの考えや学びを得られたと感じています。

●2023年短期留学2月参加 広島県 大学2年生 R・Mさん

【授業はいかがでしたか？】

受講した授業でフィリピン料理について学びました。担当先生はとっても明るくて授業の雰囲気毎回良かったです。生徒が意欲的に発言できる雰囲気作りをしてくれました。授業で紹介された料理がどれも美味しそうで私は友達と食べに行きました。最後の授業では、フィリピン料理パーティーをしました。English Communication Skillsは電子教科書のebooksを使つての授業でした。クラスメート同士でコミュニケーションをする機会もあり、発言する機会もたびたびありました。

LCICで初めて韓国語を勉強しました。先生に相談すると親身に対応してくれ、個別で課題も出してくださいました。授業の内容自体は難しいですが、先生の指導が分かりやすいため最後まで受けたいと思えました。ゲームもあり、楽しみながら学ぶ機会が多くありました。

【寮生活はいかがでしたか？】

寮のご飯はびっくりするほど美味しかったです。お米があるため、日本食に割と近いと感じました。ですが、フィリピン独特の味付けの時は合わないと感じましたし、朝ご飯は必ずパンのため、お米がいいなと感じるときもありました。最初はここに泊まるのかと不安になりましたが、慣れれば快適になります。最低限のもの(机、クローゼット)があるため不便には感じませんでした。

フィリピンの子はフレンドリーで本当にあたたかい人達でした。同室の子以外に仲良くなりたいならば、現地の学生と会話をするStudy buddyというものをおすすめします。

【休日は何をされていましたか？】

私が体験したアクティビティはバナナボート、アイランドホッピングといって船に乗って島巡りをする、シュノーケリング、ジンベイザメウォッチング、キャニオニングです。キャニオニングはスリルがありますが日本では味わえないアクティビティです。

【LCIC留学の感想をお願いします】

LCICに留学をしてたくさんの出会い、学びがありました。ぜひ留学をおすすめします。

●2023 年短期留学2月参加 神奈川県 大学4年生 Y・K さん

【授業はいかがでしたか？】

どの授業もとても楽しくて、受講して良かったと思っています！進め方も分かりやすかったです！特に、フードカルチャーではフィリピンの文化を学ぶことができ、大変満足しています！

【寮生活はいかがでしたか？】

寮の食事はどのお料理もおいしくて、毎日のお食事がとても楽しみでした！周りの友人もおいしいと言っていました！お部屋も、個室が用意されているのが良かったです！寮で偶然会った現地の学生と仲良くなりました！寮で出会うことが多かったです。素敵な出会いに感謝しています。かけがえのない仲間に出会えることができました。寮母さんは2人目の母です。

【LCIC 留学の感想をお願いします】

LCIC に留学して、心の底から良かったと思っています。日本人スタッフの方がいらっしゃるのも、安心感がありました。学校の周りにはおいしいお店が沢山あり、タクシーでシティまで30分程という立地の良さも魅力的でした！

●2022 年短期留学7月+秋季中期留学参加 広島県 大学3年生 K・O さん

【授業はいかがでしたか？】

私は基礎的な部分が心配だったので、基礎を学べる授業を中心に取りました。また、その中でもスピーキングを上達させることが目標だったので、TOEIC S&W を取り、自分の目標に合った授業を中心に選択しました。20科目以上の選択肢があり、自分が英語のどの分野を取りたいかによって、履修をすることができるので、とてもありがたかったです。また、学校に入学し、授業が始まる前に自分の英語レベルを測るテストも行われるため、自分の英語力にあったクラスに所属することができることも良い点だと思いました。

【寮生活はいかがでしたか？】

寮生活はとても快適です。建物が綺麗であるのと、留学生には必ず個室が振り分けられること、シャワールーム個室完備など、プライベートな時間を大切にしたい人にはとてもおすすめの環境です。また、個人部屋とはいっても、10人1ユニット制の寮のため、同じクラスター内の子といつでも交流が取れるというのも良い点だと考えます。寮で提供される食事日本人の舌に合わせられて作っているのも、その点に関しては心配がありませんでした。また、お弁当の量が少ないときなどは、学校の目の前にもスーパーがあるため食料を簡単に買うことができます。

寮生活ということもあって、現地学生との交流の機会はたくさんあります。寮内にはスタディホールという、勉強するためのスペースが設けられており、現地学生とお互いの課題を助け合ったり、言語交換を行ったりすることも可能です。目的別に英語を学び、英語で交流できる場所があるのも良い点だと思います。また、寮内でパーティ、イベントなど、現地学生と留学生が交流できるように、様々なイベントも企画されています。

【LCIC 留学の感想をお願いします】

留学経験は私にとってたくさんの良い影響を与えてくれました。何より、自信につながり、英語に携わるイベントに参加するなど、積極的に行動するようになりました。今まで以上の英語学習へのモチベーションとなりました。